

2021年3月期 決算説明資料

2021年5月20日

(5月24日 決算説明収録動画配信)

未来にタネをまこう。



株式会社ジャックス(証券コード:8584)

www.jaccs.co.jp

わたしたちは  MUFG です。

目次

I . 2021年3月期決算概況…2

II . 各事業部門の状況と今後の取組み…21

III . 2022年3月期業績予想…31

IV . Appendix…34

I . 2021年3月期決算概況

2021年3月期決算サマリー

単体・連結ともに営業収益は8期連続で増収
海外事業での減益を国内事業で打ち返し、当期純利益は過去最高を更新

(億円)

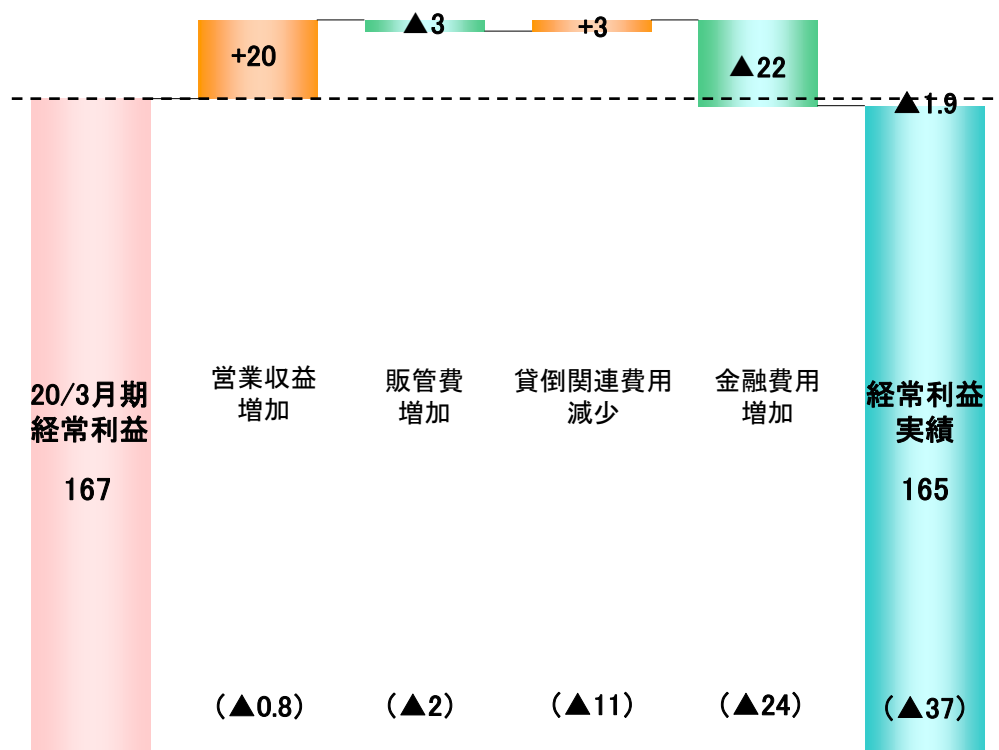
		19/3期	20/3期	21/3期		
		実績	実績	実績	前年差	前年比
連結	営業収益	1,458	1,586	1,606	20	1.3%
	営業利益	143	165	163	▲1	▲1.1%
	経常利益	144	167	165	▲1	▲1.2%
	親会社株主に帰属 する当期純利益	89	107	117	10	9.7%
	1株当たり 配当金(円)	80	95	105	10	—
単体	営業収益	1,270	1,347	1,353	6	0.5%
	営業利益	135	148	180	31	21.2%
	経常利益	135	150	181	30	20.5%
	当期純利益	88	101	125	24	23.8%

※億円未満切捨て(伸率は百万円単位で算出)

2021年3月期決算のポイント(連結)

前期実績と今期実績の比較

(億円)



クレジット・ファイナンス事業がけん引
営業収益20億円増加

業容拡大、フィリピン連結化により
販管費3億円増加

海外事業でコロナ影響により貸倒引当金
繰入額増加も、国内事業での圧縮幅が上回り
貸倒関連費用3億円減少

取扱高の拡大、インドネシア通貨ルピア安により
金融費用22億円増加



新型コロナウイルス感染症の影響を受けるも
減益を1.9億円にとどめ
連結経常利益は165億円にて着地

カッコ内は海外事業合計の増減影響額

事業部門別取扱高・営業収益(単体)

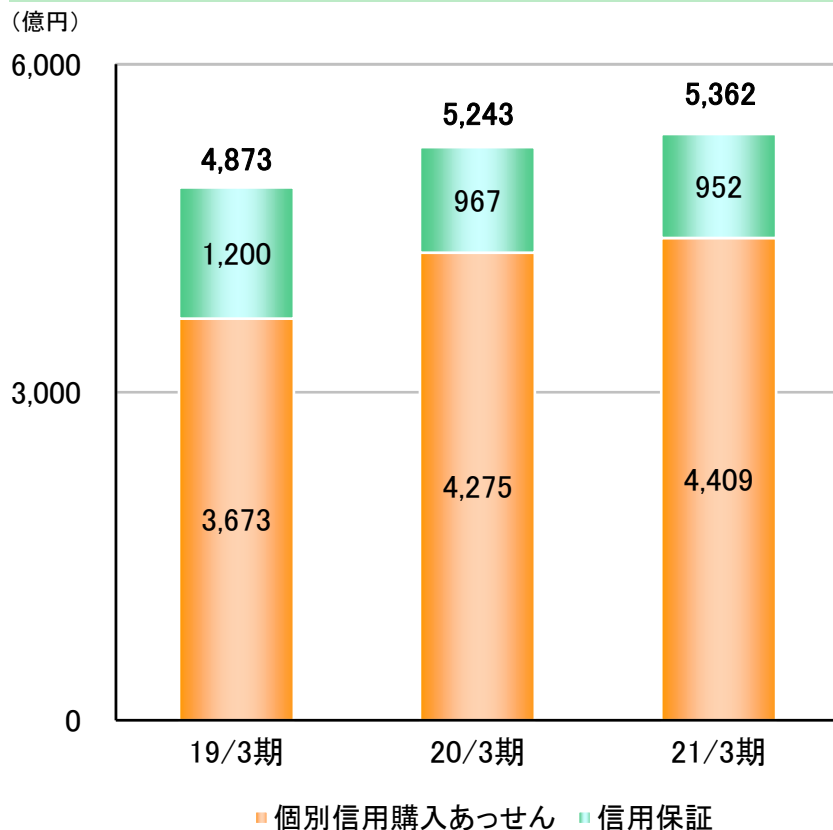
(億円)

		19/3期	20/3期	21/3期		
		実績	実績	実績	前年差	前年比
取扱高	一般月販	4,873	5,243	5,362	118	2.3%
	オートローン	7,026	7,490	7,620	129	1.7%
	クレジット事業	11,900	12,734	12,982	248	2.0%
	ショッピング	9,611	9,866	8,823	▲1,042	▲10.6%
	キャッシング	521	493	343	▲149	▲30.3%
	カード事業	10,266	10,504	9,358	▲1,146	▲10.9%
	ペイメント事業	15,803	16,741	16,442	▲298	▲1.8%
	ファイナンス事業	6,611	8,585	9,453	867	10.1%
	取扱高合計	44,581	48,566	48,237	▲329	▲0.7%
営業収益	一般月販	265	273	271	▲2	▲0.9%
	オートローン	251	282	303	21	7.5%
	クレジット事業	516	556	575	18	3.3%
	ショッピング	331	339	321	▲18	▲5.6%
	キャッシング	93	88	74	▲14	▲16.1%
	カード事業	425	429	396	▲33	▲7.8%
	ペイメント事業	73	79	74	▲5	▲6.3%
	ファイナンス事業	228	256	283	26	10.2%
	金融収益等	26	25	25	▲0	▲0.4%
	営業収益合計	1,270	1,347	1,353	6	0.5%

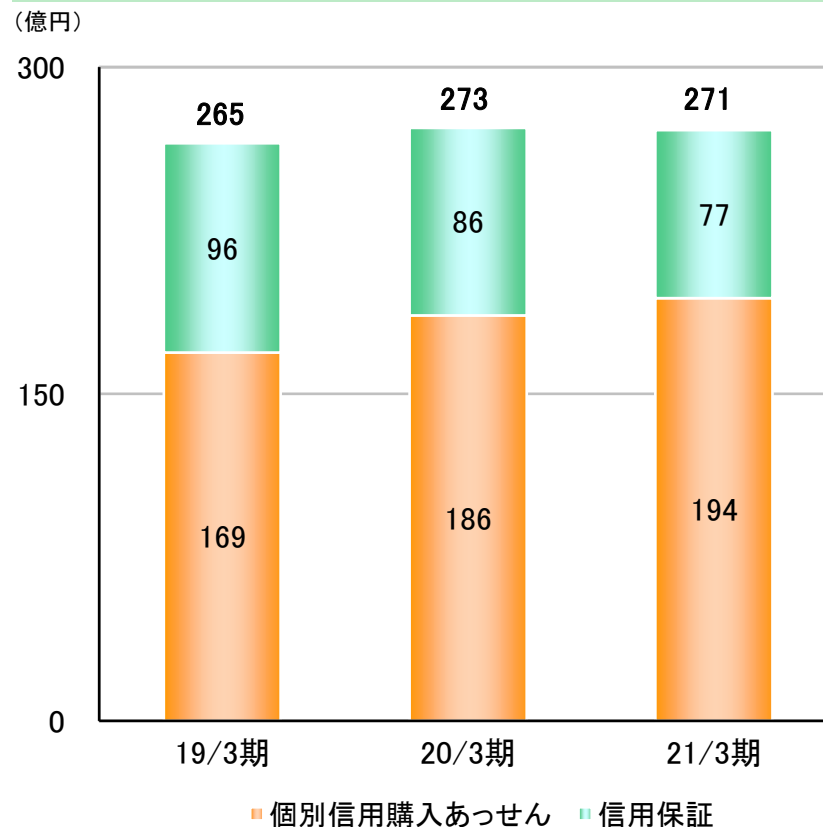
※億円未満切捨て(伸率は百万円単位で算出) ※カード事業合計にはプリペイドカード等の実績を含んでおります

事業部門別概況(1) クレジット事業(一般月販)

取扱高



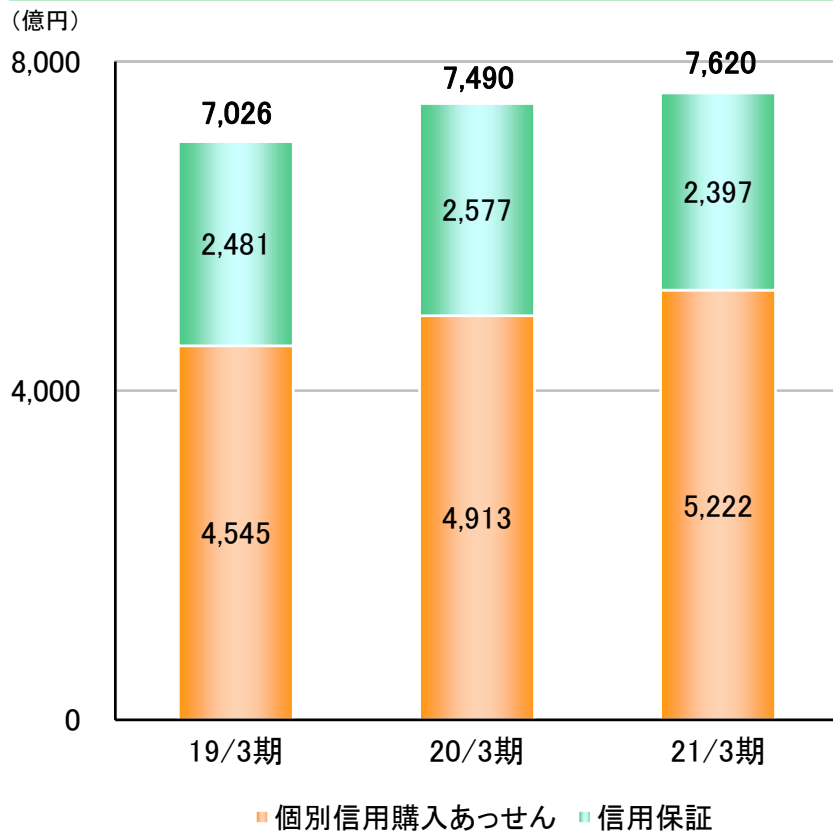
営業収益



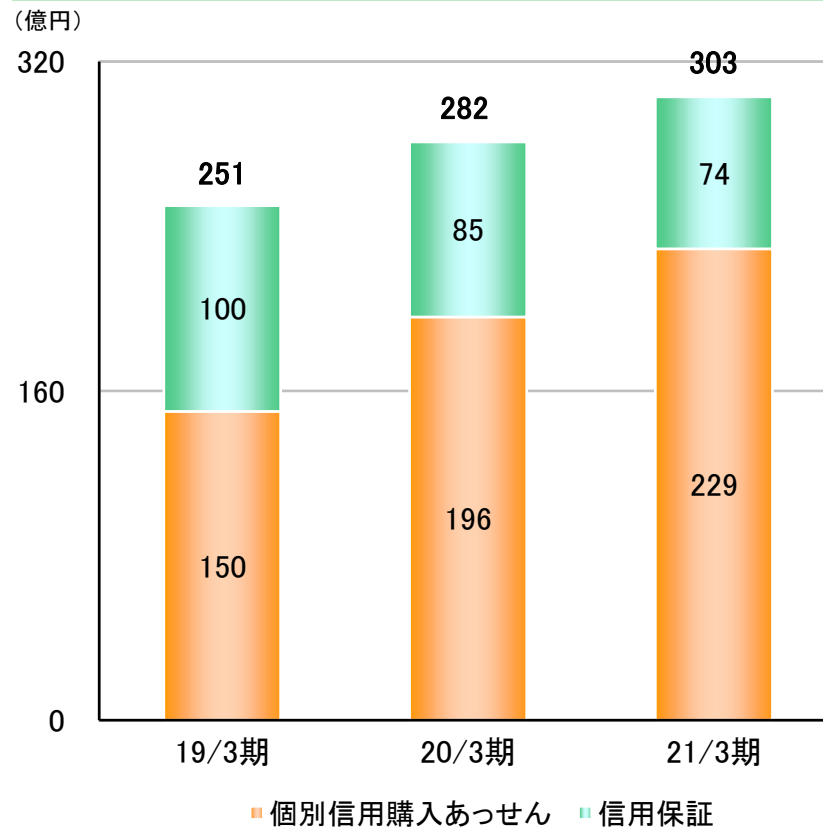
- 取扱高は、住宅関連やPC等の取扱いが堅調に推移、二輪車等の取扱いも回復したことにより増加
- 営業収益は、信用保証の取扱いと割賦利益繰延の戻し入れ減少により、僅かに減少

事業部門別概況(1) クレジット事業(オートローン)

取扱高



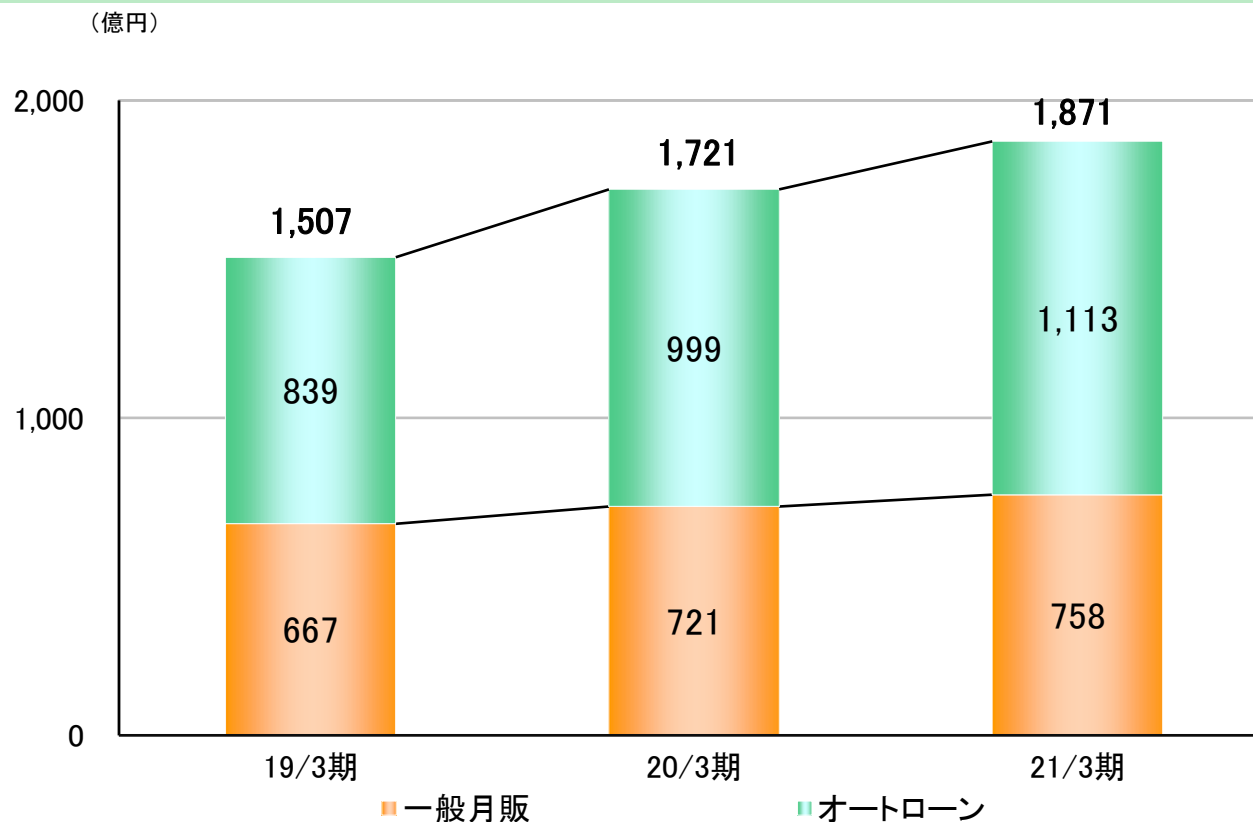
営業収益



- 取扱高は、専門店の取扱いが堅調に推移、輸入車の取扱いも回復したことにより増加
- 営業収益は、個別信用購入あつせんの取扱い拡大と割賦利益繰延の戻し入れにより増加

事業部門別概況(1) クレジット事業(割賦利益繰延残高)

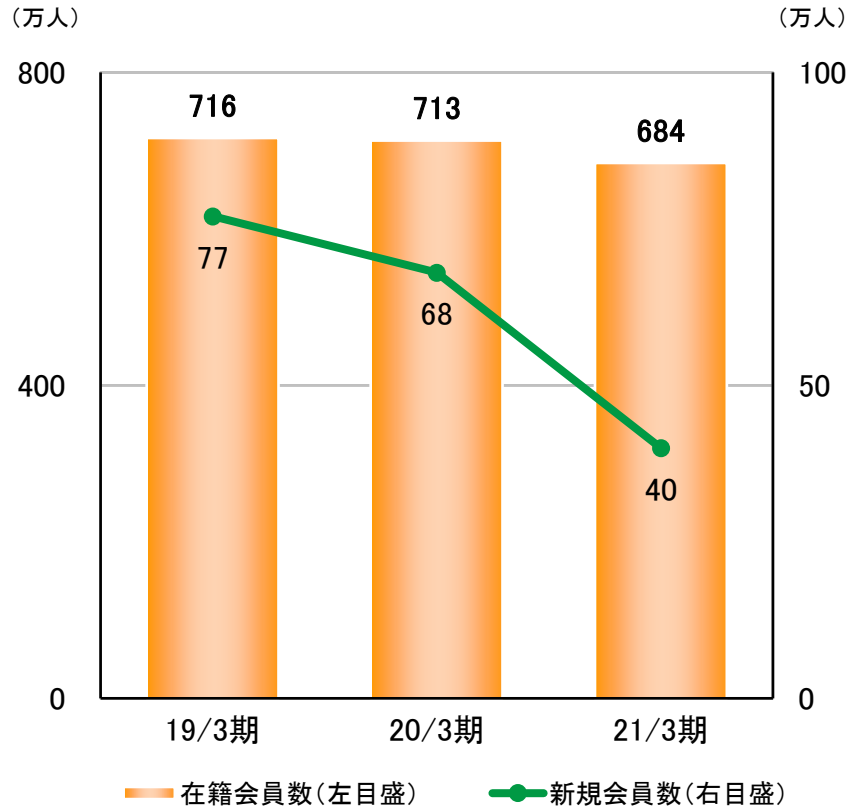
割賦利益繰延残高推移



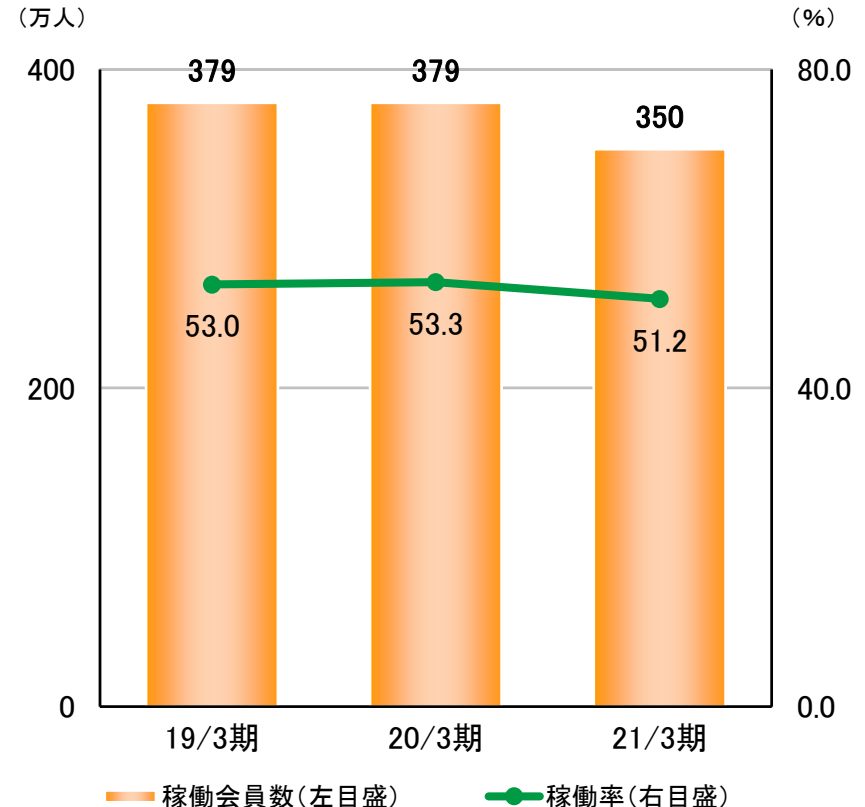
- 割賦利益繰延残高は、クレジット事業の営業収益約3.3年分まで拡大、当社グループの安定した収益基盤として業績に大きく貢献

事業部門別概況(2) カード事業(会員数推移)

在籍会員数と新規会員数



稼働会員数と稼働率

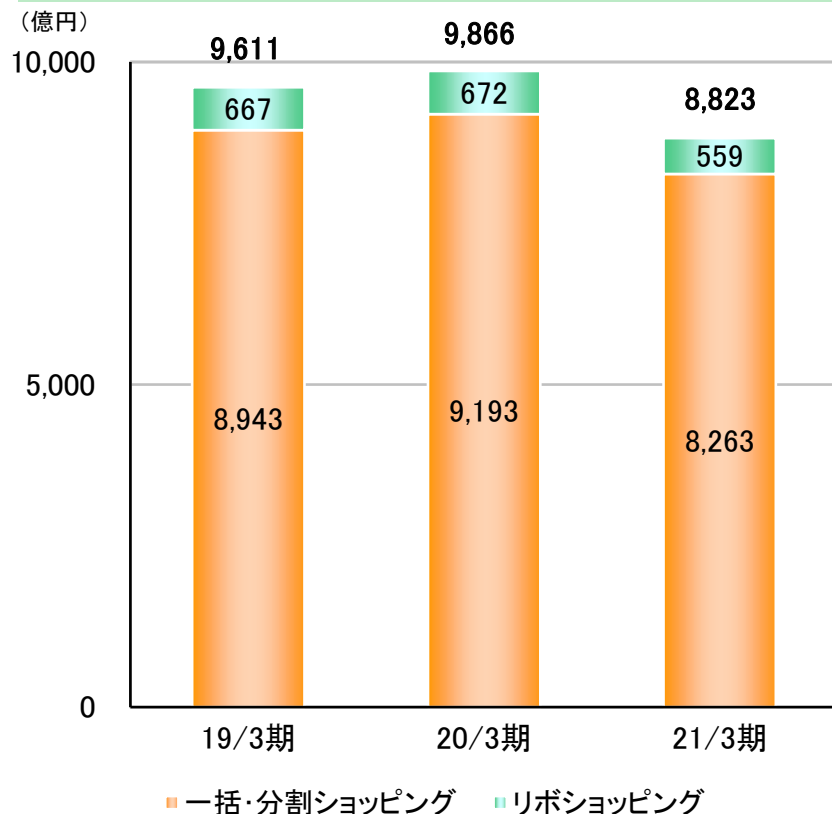


カード稼働率: 1年以内に1回以上利用した会員の比率

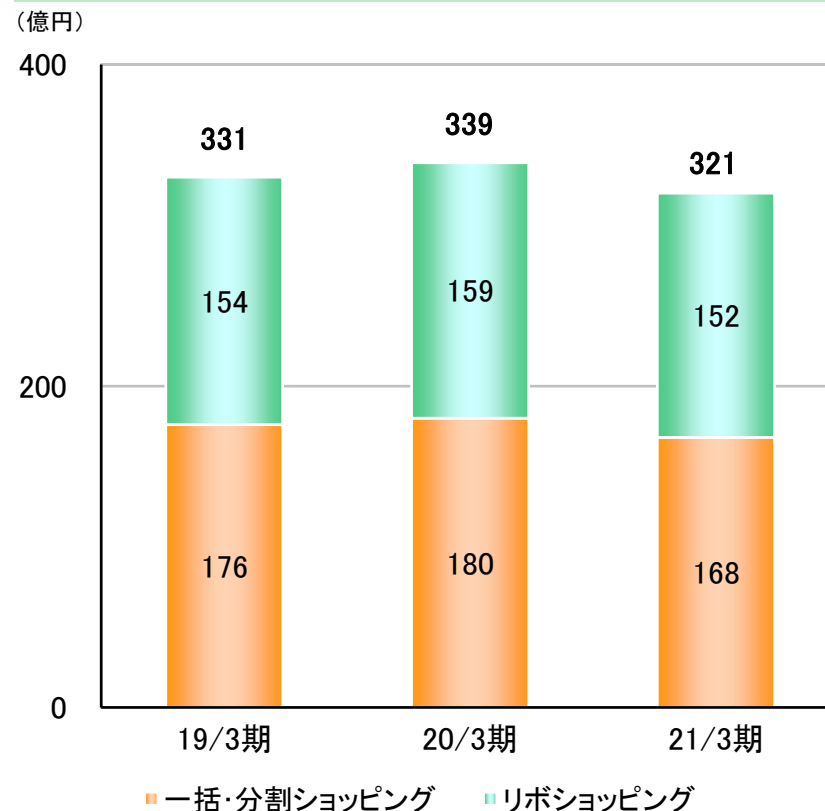
- 新規入会数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大きく減少
- 稼働会員数は、在籍会員数の減少、消費行動の変化や外出自粛などの影響により減少

事業部門別概況(2) カード事業(ショッピング)

取扱高



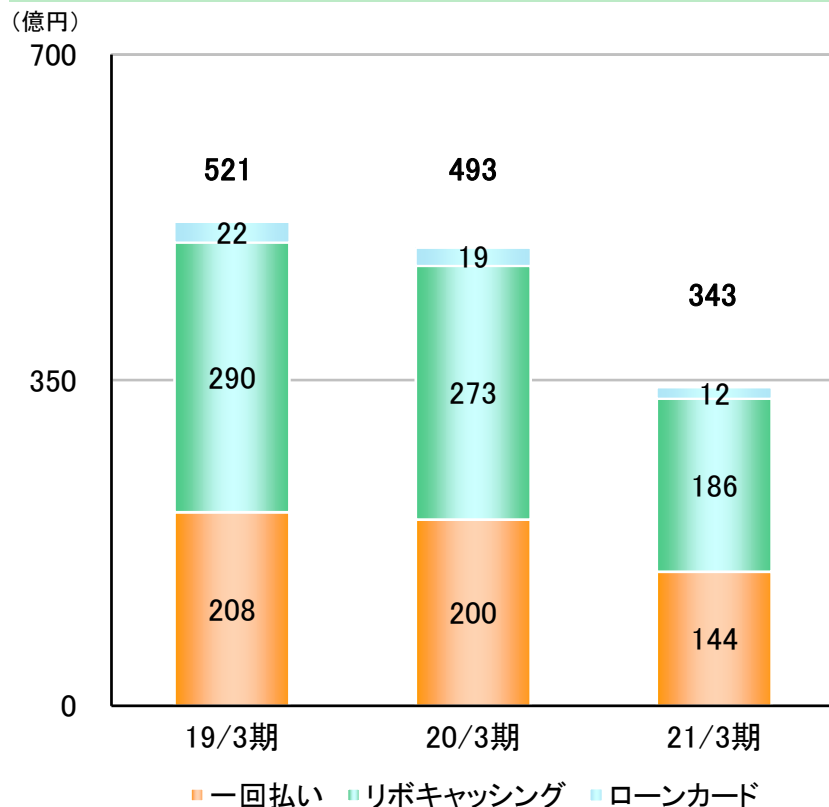
営業収益



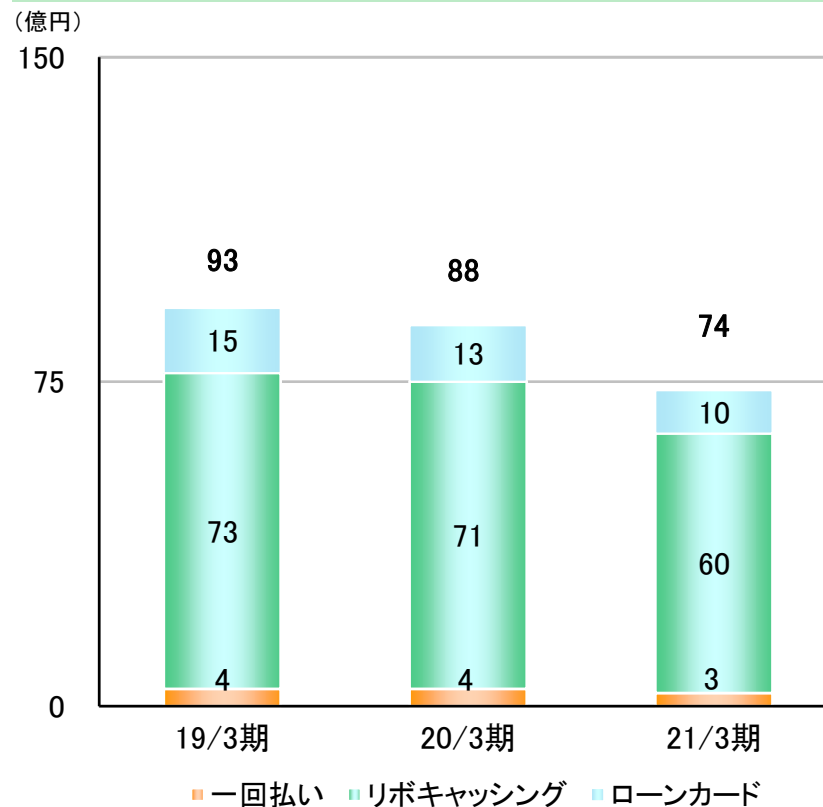
- 取扱高は、新規入会数・在籍会員数の減少、個人消費の低迷などの影響により減少
- 営業収益は、取扱高の減少、リボショッピング残高の低下により減少

事業部門別概況(2) カード事業(キャッシング)

取扱高



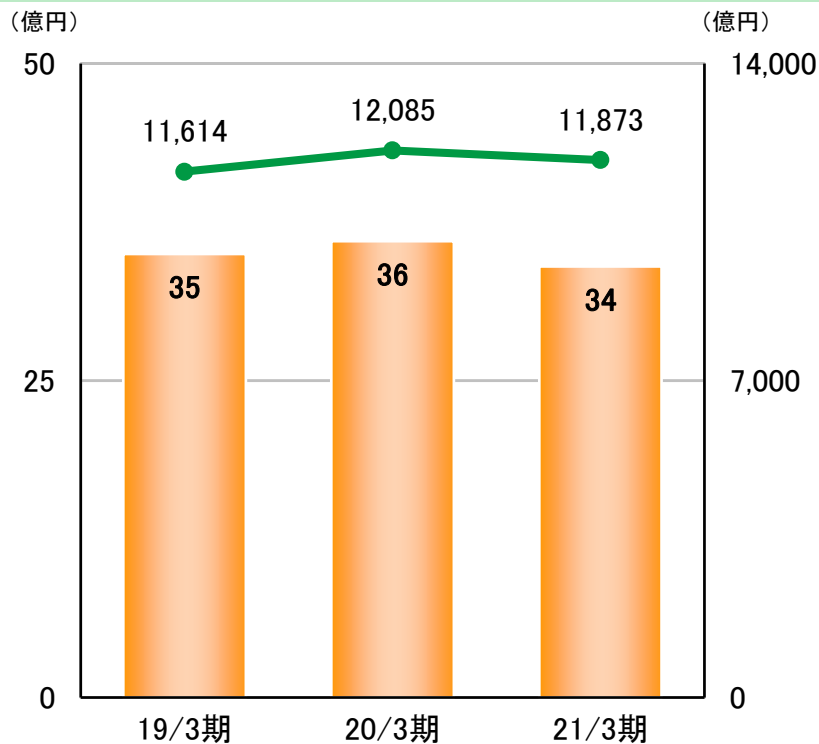
営業収益



- 取扱高は、新規・在籍会員数の減少、資金需要の低下などの影響により大幅に減少
- 営業収益は、取扱高の減少、リボキャッシング・ローンカードの残高減により減少

事業部門別概況(3) ペイメント事業(集金代行、家賃保証等)

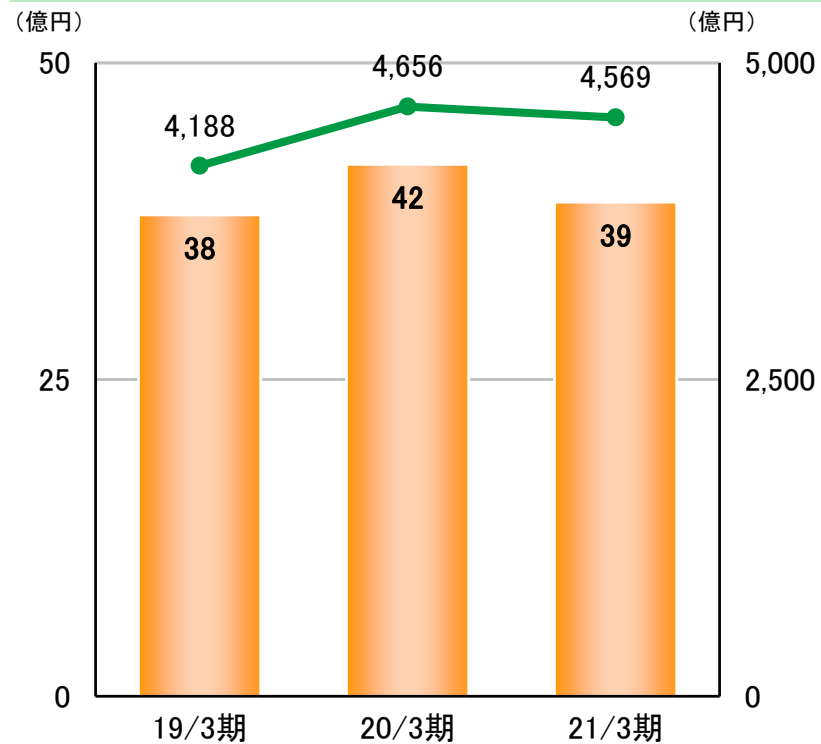
集金代行



営業収益(左目盛)

取扱高(右目盛)

家賃保証等



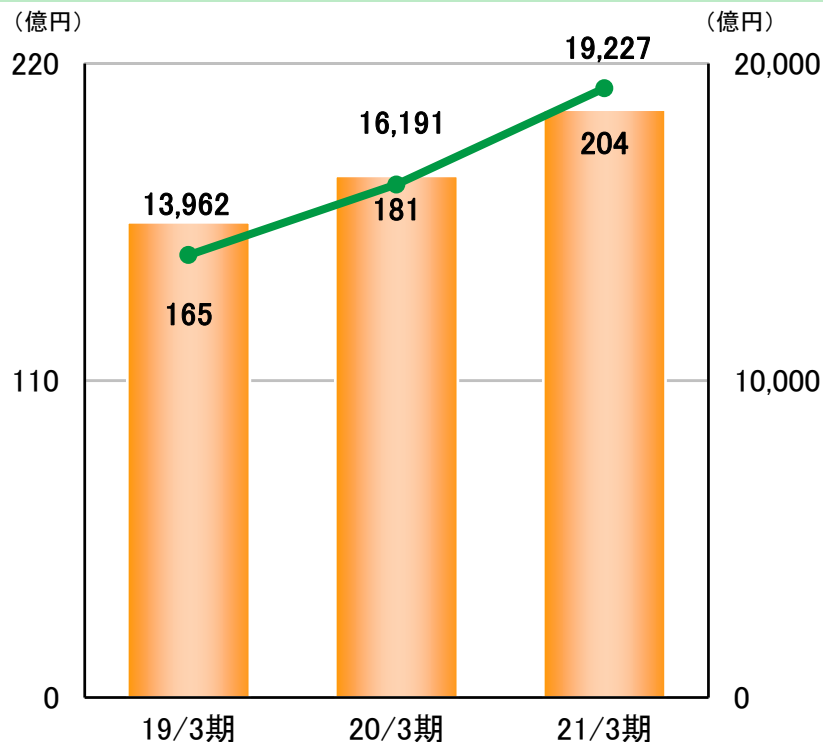
営業収益(左目盛)

取扱高(右目盛)

- 集金代行は、提携先の営業自粛等の影響により請求件数が減少し、取扱高・営業収益は減少
- 家賃関連商品の取扱いは徐々に回復し前年対比で増加するも、一部商品の子会社への移管により家賃保証等全体の取扱高・営業収益は減少

事業部門別概況(4) ファイナンス事業

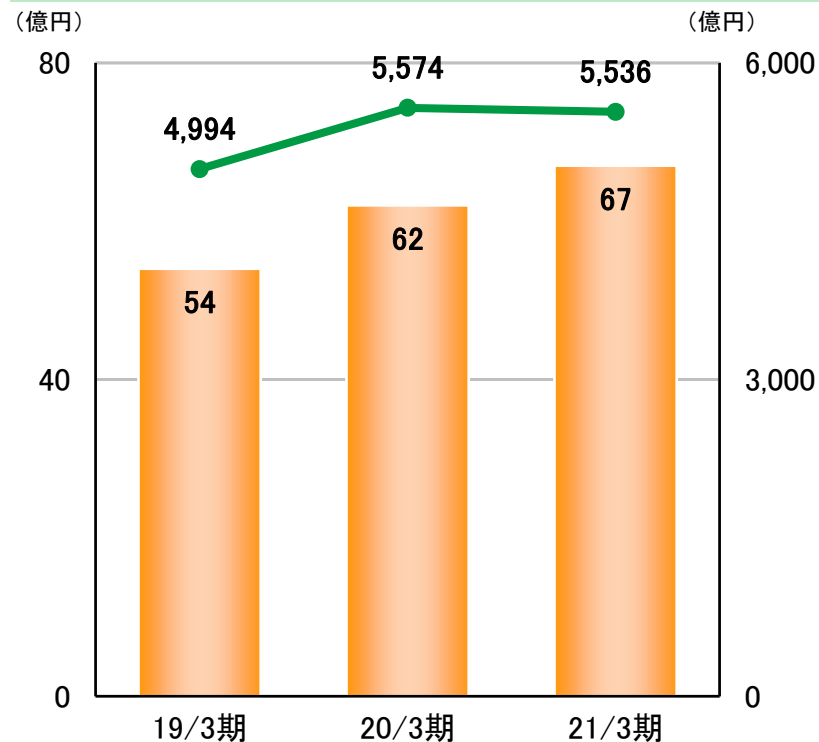
住宅ローン



営業収益(左目盛)

保証残高(右目盛)

銀行個人ローン保証



営業収益(左目盛)

保証残高(右目盛)

- 住宅ローンは、提携先での引き渡し戸数は減少するも、シェア拡大により残高・営業収益ともに増加
- 銀行個人ローン保証は、個人消費の低迷により取扱高は減少するも、株式会社ジェーシービー信用保証事業の承継効果により営業収益は増加

※住宅ローン、銀行個人ローン保証共に保証残高には集金無し保証残高(オフバランス分)を含む

営業費用(単体)

(億円)

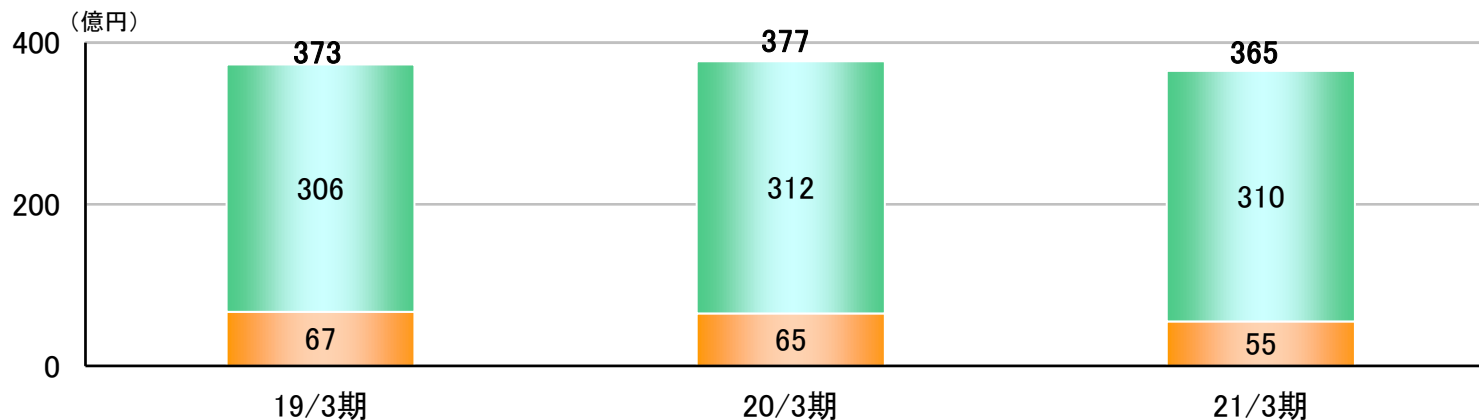
	19/3期		20/3期		21/3期		
	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年差	前年比
人件費	261	1.2%	263	0.7%	271	8	3.1%
物件費	433	2.1%	459	5.9%	442	▲16	▲3.7%
電算費	183	3.4%	184	0.7%	186	1	1.0%
金融費用	73	8.2%	82	12.4%	84	2	2.8%
貸倒関連費用	183	18.3%	209	13.9%	188	▲20	▲10.0%
合計	1,135	4.8%	1,198	5.6%	1,173	▲25	▲2.1%

※億円未満切捨て(伸率は百万円単位で算出)

- 2019年10月の消費増税の影響があったものの、営業活動の自粛やカード関連費用の見直しの効果により物件費は減少
- 未収債権の新規発生額や貸倒償却額の減少により、貸倒関連費用は減少

未収債権の状況(単体)

未収債権残高



■ 3~6ヶ月未満 ■ 6ヶ月以上

(億円)

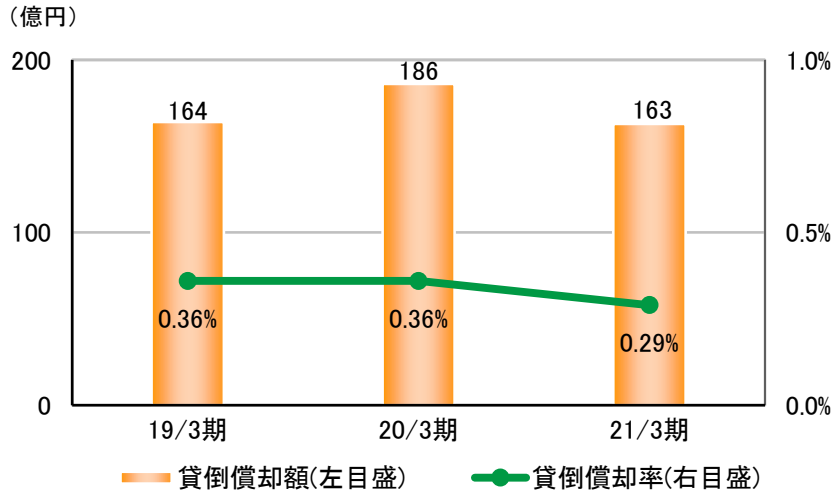
	19/3期	20/3期	21/3期	前年差
6ヶ月以上	306	312	310	▲1
3ヶ月以上6ヶ月未満	67	65	55	▲10
合計 *1	373	377	365	▲12
条件緩和先債権(上記未収債権除く)	136	143	148	4
営業総債権残高 *2	45,122	52,042	57,223	5,181
未収債権率(%)	0.83	0.73	0.64	▲0.09

*1 固定化営業債権を含む *2 固定化営業債権、集金無し保証残高(オフバランス分)を含む

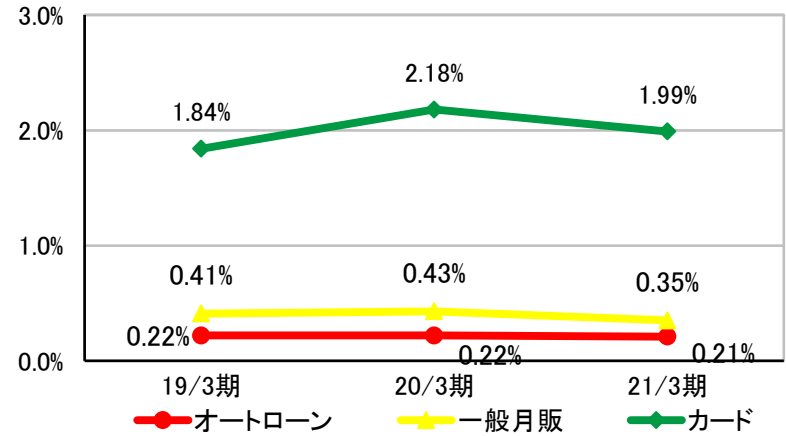
- 堅調な取扱いにより営業総債権残高が拡大するなか、延滞発生額の減少等により、未収債権残高は減少、未収債権率も低位で推移

貸倒償却の状況(単体)

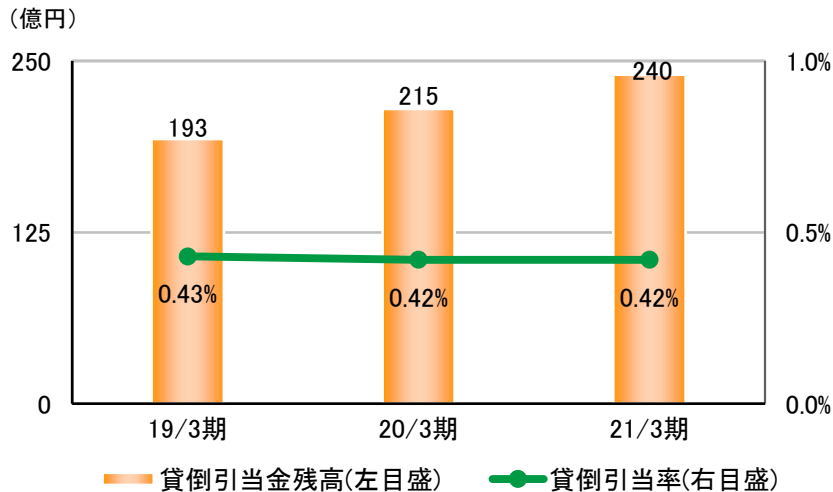
貸倒償却額/率



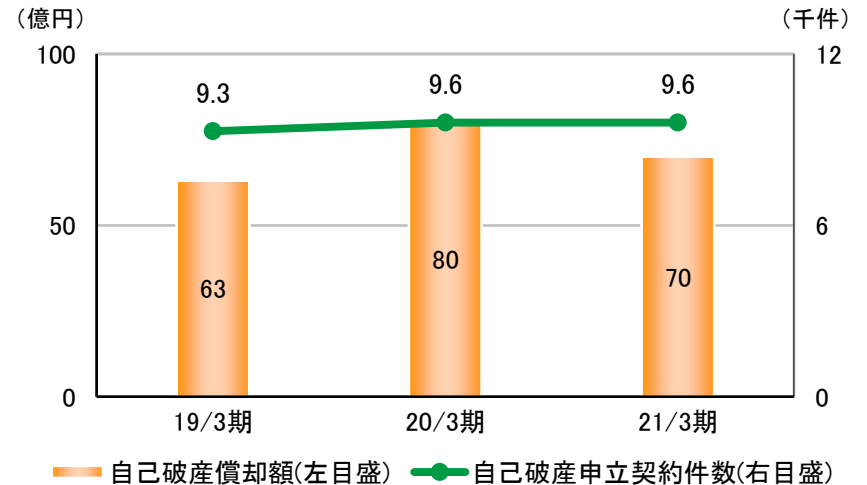
商品別貸倒償却率



貸倒引当金残高/率 ※1



自己破産償却額・自己破産申立契約件数

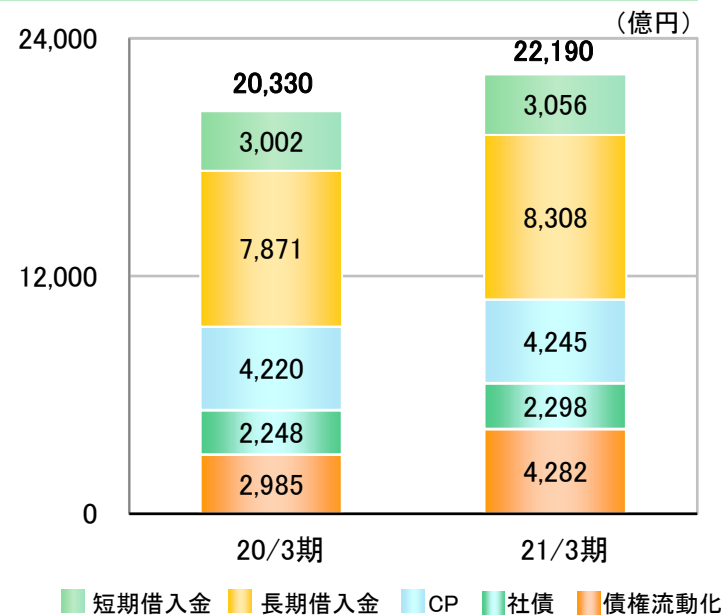


※1 貸倒引当金残高には債務保証損失引当金を含む

資金調達状況(単体)

資金調達の状況

調達種類	20/3期		21/3期		前年差
	金額	割合	金額	割合	
短期借入金	3,002	14.8%	3,056	13.8%	53
長期借入金	7,871	38.7%	8,308	37.4%	437
CP	4,220	20.8%	4,245	19.1%	25
社債	2,248	11.1%	2,298	10.4%	50
債権流動化	2,985	14.7%	4,282	19.3%	1,296
調達合計	20,330	100.0%	22,190	100.0%	1,860



長期比率・固定金利比率

	19/3期	20/3期	21/3期
長期比率	47%	54%	54%
固定比率	55%	61%	63%

格付け情報

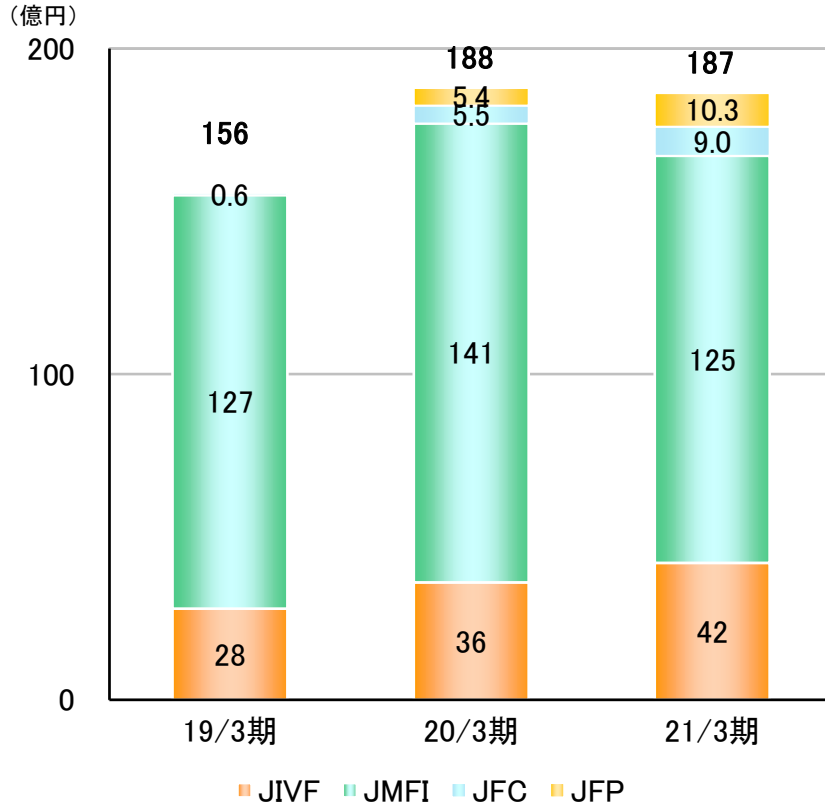
	R&I	JCR
長期	A-	A-
短期	a-1	J-1

※1年以内返済予定の長期借入金・流動化は長期比率に含めておりません

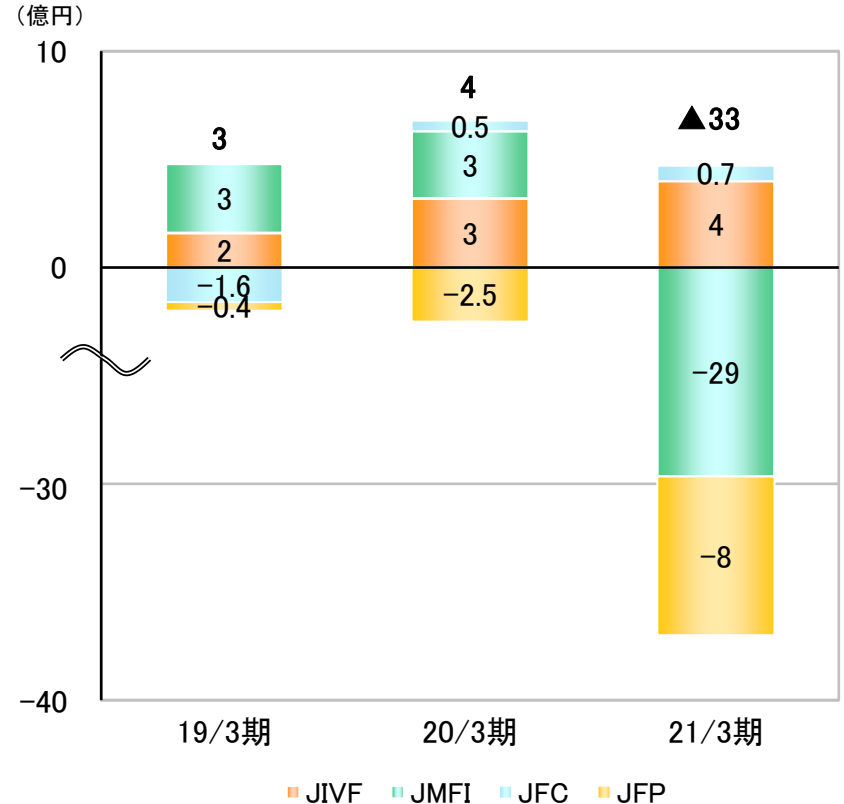
- アセットの拡大に応じて、債権流動化も含めて金融機関、マーケットより幅広く安定した調達を実施
- 市場環境の変動に対して、機動的且つ柔軟な調達を実施

海外関係会社

営業収益



経常利益※1



※海外関係会社の決算期: 12月決算、当期連結業績には2020年1-12月分が反映
 ※JFP社は20/3期第3Qより連結子会社化の為、20/3期実績には7-12月分が反映

※1のれん、連結調整額等の加減を考慮し、正味連結業績へ貢献する経常利益額

- ベトナム、カンボジアは新型コロナウイルス感染症の影響を軽微に留め、増収・増益を継続
- インドネシア、フィリピンの取扱高は経済活動の停滞や外出規制により大幅に減少、金融費用や貸倒関連費用が膨らみ経常損失となるが、支払猶予対応や回収措置の強化により業績は回復傾向

JIVF ~ JACCS International Vietnam Finance Company Limited (ベトナム)

JMFI ~ PT JACCS MITRA PINASTHIKA MUSTIKA FINANCE INDONESIA(インドネシア)

JFC ~ JACCS Finance (Cambodia) PLC. (カンボジア)

JFP ~ JACCS FINANCE PHILIPPINES CORPORATION (フィリピン)

中期3カ年経営計画「RAISE 2020」の振り返り(計数目標)

最終年度の営業収益はコロナ禍で未達となるも、
グループ各社が事業拡大と業務改善に努めた結果、経営指標は概ね達成

(億円)

	ACT-Σ	RAISE 2020				
	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期		
	実績	実績	実績	実績	達成率 ※1	18/3期比
営業収益 ※2	1,340	1,458	1,586	1,606	94.7%	266
単体	1,196	1,270	1,347	1,353	96.8%	157
国内関係会社	46	63	75	89	95.1%	42
海外関係会社	108	156	188	187	81.2%	79
経常利益 ※2	127	144	167	165	102.1%	37
単体	113	135	150	181	161.9%	67
国内関係会社	8	18	22	25	81.1%	17
海外関係会社	8	3	4	▲33	-	▲41
親会社株主に帰属する 当期純利益	78	89	107	117	110.5%	39
ROE	5.5%	6.0%	7.0%	7.2%	-	+1.7
1株当たり配当金	※3 80円	80円	95円	105円	-	25円

※1 達成率は中期経営計画の計数目標に対する率 ※2 営業収益の内訳は単純合算ベース、経常利益の内訳はのれん・連結調整を加味した利益貢献額

※3 2017年10月に普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施、18/3期の配当金は株式併合後の影響を考慮した数値に換算して表示

中期3カ年経営計画「RAISE 2020」の振り返り

重点施策	成果
<p>1. 国内事業の持続的成長</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 既存事業の拡大 ■ 決済事業の拡大 ■ 事業間・グループ間のシナジー追求 	<p>グループ経営の礎となる収益基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ クレジット事業、ファイナンス事業が牽引、グループ連携により国内事業は拡大基調を継続 ■ アクワイアリングやコード決済、後払い決済などのグループが保有するマルチ決済機能の拡充と推進 ■ カード事業のコスト見直しによる収支の改善
<p>2. 海外事業の成長拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ベトナム・インドネシアの利益拡大 ■ フィリピン、カンボジアにおける事業基盤の構築、強化 ■ 海外関係会社における内部統制システムの整備やガバナンス強化、システム・経理面などの支援態勢強化 	<p>利益成長へ向けた事業構造改革が進展</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ベトナム、増収・増益を果たし、増資やシステム投資など成長へ向けた基盤の強化が進展 ■ インドネシア、取扱商品の見直しによる収益構造の改善を進め、審査・債権管理の体制やガバナンス機能を強化 ■ カンボジア、取扱高は堅調に拡大し、単年度黒字化を1年前倒しで達成、支店開設など営業基盤の強化が進展 ■ フィリピン、連結子会社化し、中古車をメインとした事業構造への転換、債権管理の体制・機能強化を実施
<p>3. 生産性の向上と成長基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ MUFGグループとのシナジー発揮による経営基盤のさらなる強化 ■ IT投資継続による成長と効率化、システム基盤の強化 ■ コスト構造改革の継続、経営資源の戦略的配分 	<p>IT、AIを活用した利便性向上と業務効率化を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Web申込機能の拡充により、利便性の向上、競争力を強化 ■ AI・RPAの活用拡大により、生産性と業務効率が向上 ■ 人事制度の拡充を図り、週休3日制や在宅勤務など働き方改革を推進

Ⅱ.各事業部門の状況と 今後の取組み

※2022年3月期より単体の取扱高・営業収益の区分を変更し、本ページ以後の資料は過年度実績も遡及して新区分で表示しております。区分変更の詳細はデータブック3ページを参照ください。

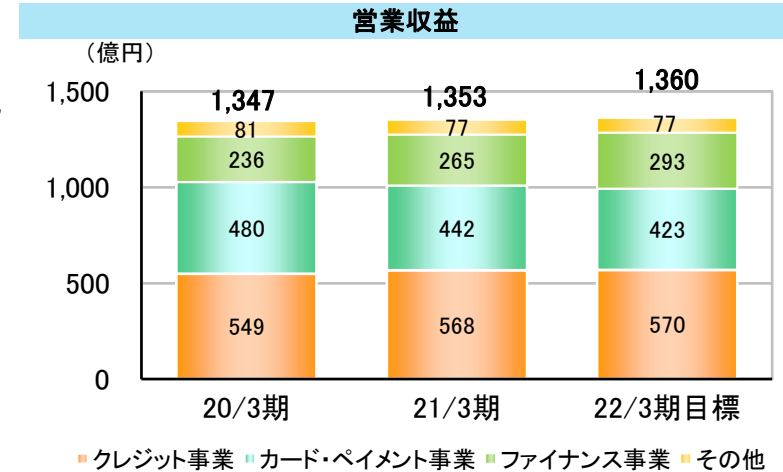
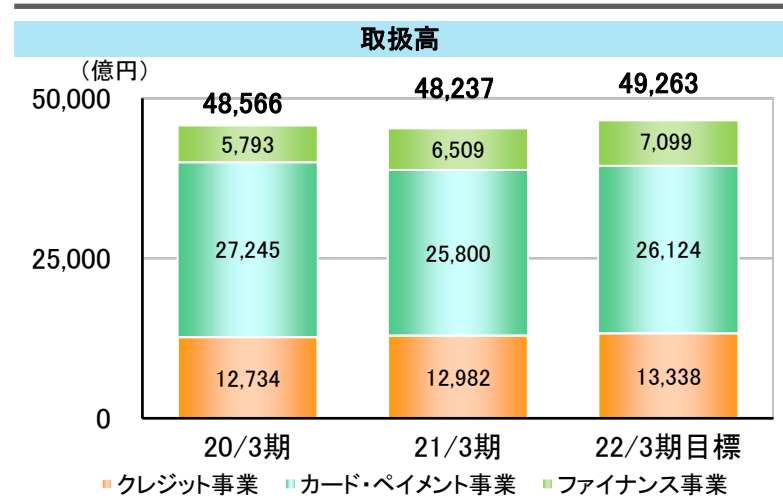
国内事業(単体)

基盤事業の持続的成長と生産性の更なる向上

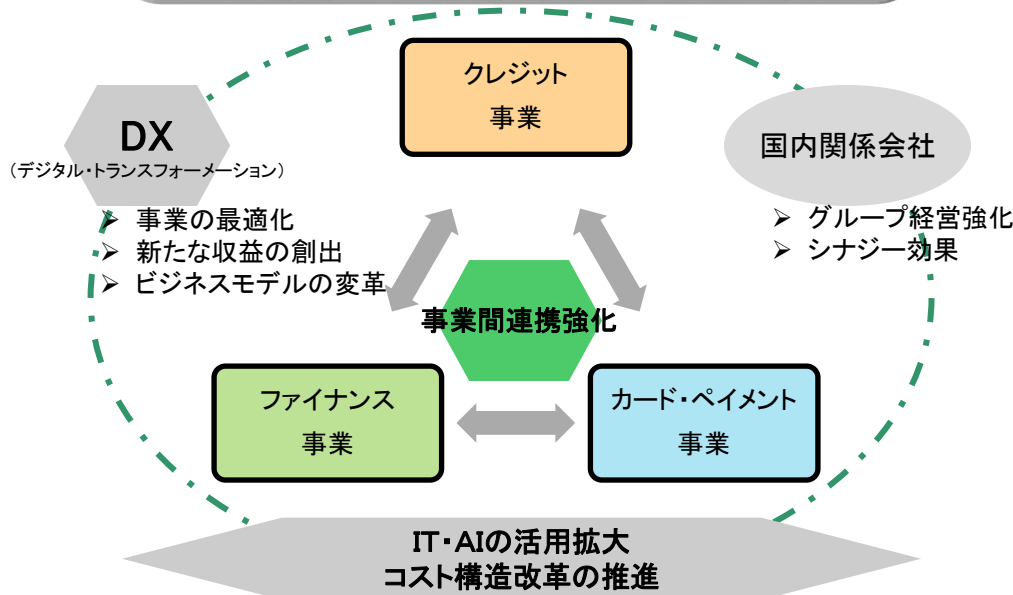
戦略のポイント

- 国内事業の持続的成長、業務効率化の推進
 - 環境変化や市場ニーズを捉え、加盟店・顧客目線の商品・サービスを提供し、国内基盤事業を拡大
 - カード・ペイメント事業の一体戦略・改革・推進による収益の拡大
 - DXを活用して業務効率化を図り、生産性を向上

業績目標



※取扱高合計にはフロアプラン等のその他取扱高、その他収益には金融収益等を含んでおります。



クレジット事業(一般月販)

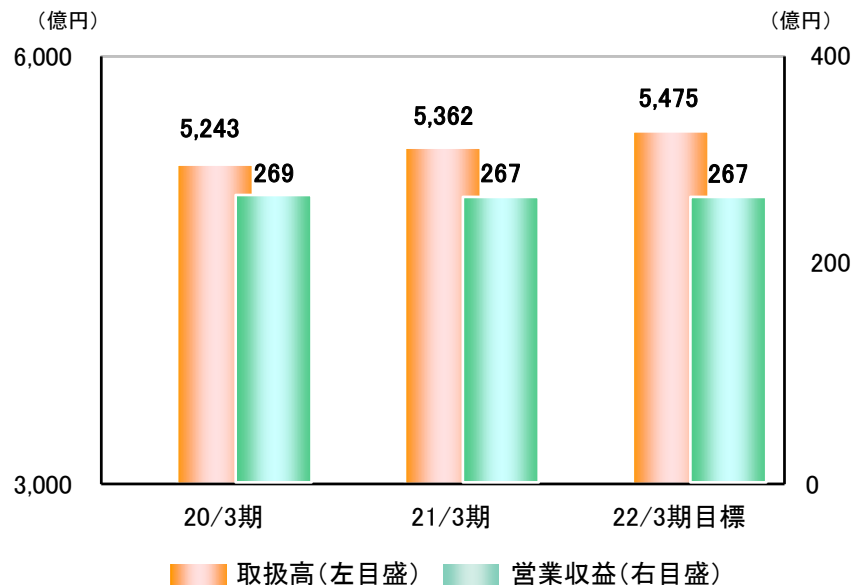
営業基盤の拡充とマーケットシェアの拡大

今後の取組み

- 住宅関連分野のさらなる拡大
 - ハウスメーカー・ビルダーに加え、電力会社・商社等との新たなアライアンスにより、住宅・環境商材の取扱い拡大
 - Web化・新スキーム開発により、住宅関連分野での競争力強化と差別化を図り、確固たる地位を確立
- 多様な業種における取扱いの拡大
 - 新たな生活様式下のニーズを捉えた商品の開発、推進
 - Web機能の拡充、導入推進による需要喚起と市場拡大
 - 各種施策による二輪、教育、メディカル分野などの取扱拡大

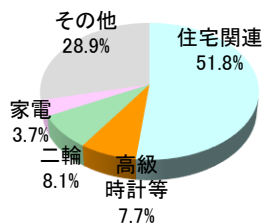
業績推移

取扱高および営業収益



主要業種の取扱い推進強化

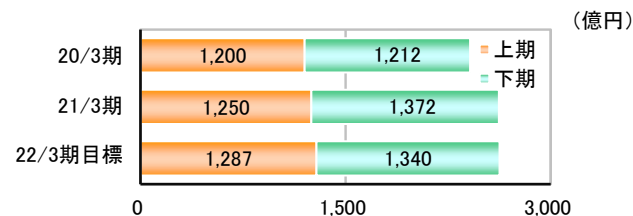
取扱高構成比・取扱高前年伸率(21/3期)



前年伸率	20/3期実績	21/3期実績
住宅関連商品	14.6%	8.7%
高級時計等	1.0%	▲16.4%
二輪	6.8%	2.1%
家電	23.8%	▲16.8%

住宅関連分野の拡大

取扱高推移



クレジット事業(オートローン)

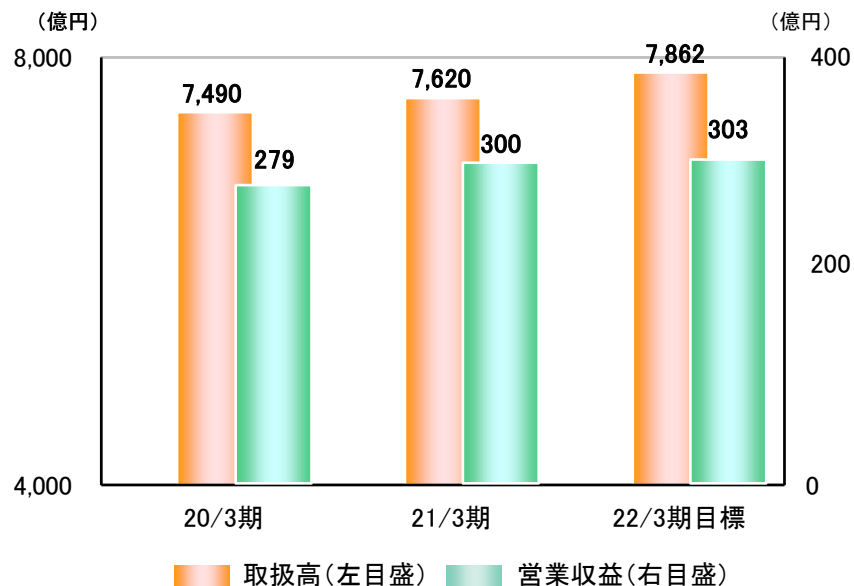
輸入車・専門店への取組み強化によるマーケットシェアの拡大

今後の取組み

- 輸入車ディーラーにおける取扱いの拡大
 - インポーターと一体となった販売施策・ファイナンスの創出、高品質なサービス提供による関係強化
- 専門店マーケットにおける取扱いの拡大
 - メガ専門店、組織提携先での取扱拡大とシェア向上
 - Web商品の機能拡充とユーザビリティの向上
- オートリースの拡大
 - インポーター、組織提携先との連携強化
 - オートリースシステムの機能拡充、推進体制の強化

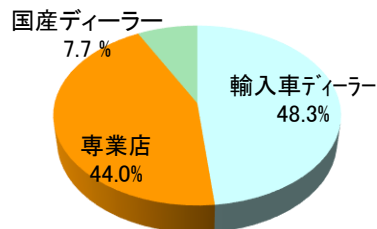
業績推移

取扱高および営業収益



各種ディーラーへの施策展開

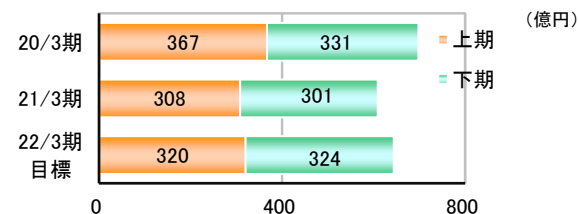
取扱高構成比・前年伸率(21/3期)



	前年伸率	20/3期実績	21/3期実績
輸入車ディーラー		9.5%	2.0%
専門店		5.3%	7.7%
国産ディーラー		▲6.1%	▲16.0%

オートリースの拡販

取扱高推移



カード・ペイメント事業

事業拡大に向けた決済領域の基盤強化

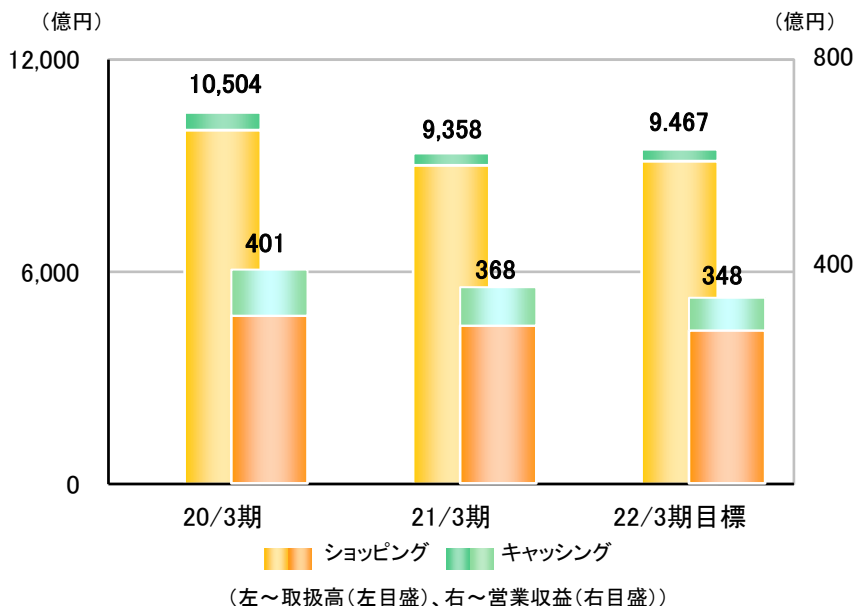
今後の取組み

～決済市場のマルチ攻略～

- カード分野
 - 収益性を重視した提携カードの推進
 - 事業間連携の強化・推進による、カード会員基盤の再拡大
 - アライアンス推進による、取扱高の拡大
- ペイメント分野
 - マルチ決済メニューの推進
 - 家賃保証へのWeb化推進
 - 重点業種の攻略に向けたアライアンス推進

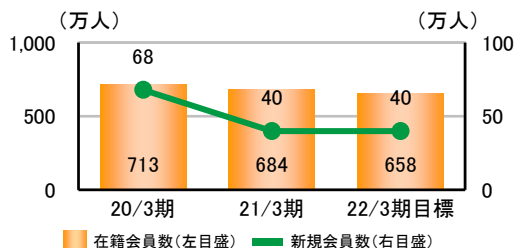
カード分野業績推移

取扱高および営業収益



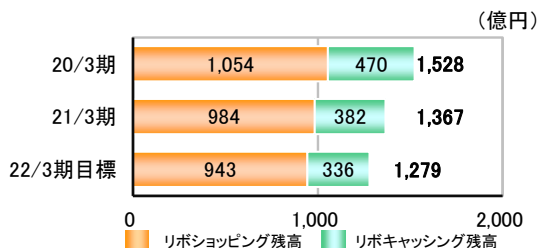
クレジットカード顧客基盤の拡充

在籍会員数・新規会員数推移



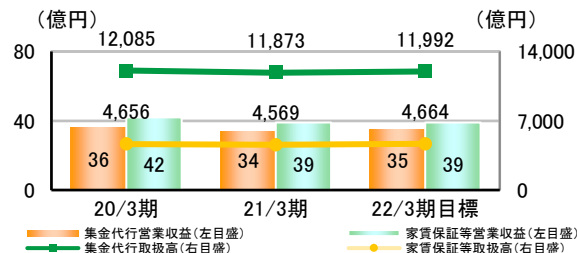
収益基盤の再構築

リボショッピング・キャッシング残高推移



ペイメント分野の拡大

集金代行・家賃保証等 取扱高・営業収益推移



ファイナンス事業(住宅ローン・銀行個人ローン保証)

住宅ローン

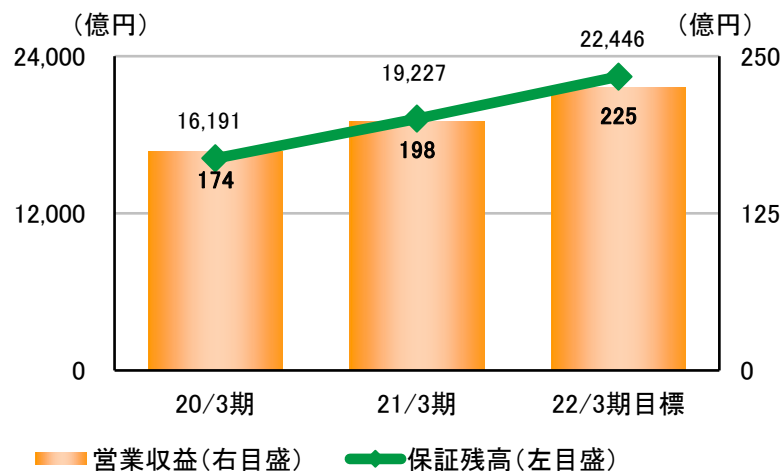
事業基盤の強化による収益拡大

今後の取組み

- 商品開発・関連事業の推進、金融機関との連携強化
- システム化・業務効率化の推進
- 加盟店管理・業務運営体制の強化

業績推移

保証残高および営業収益推移



銀行個人ローン保証

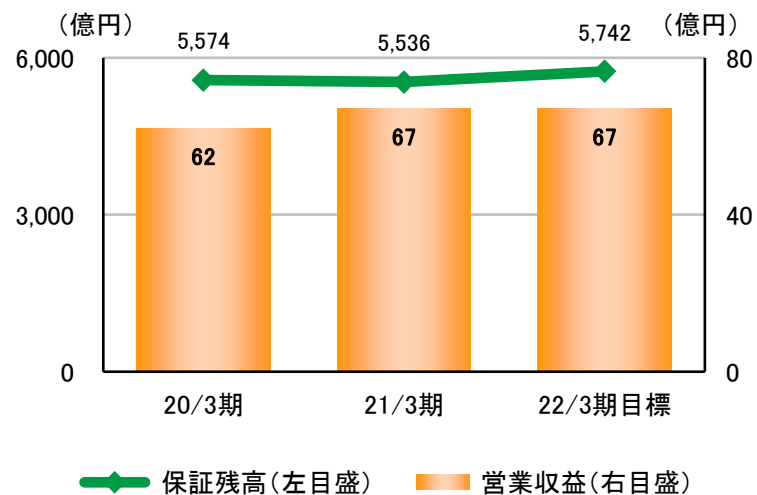
営業基盤の拡充、収益性の向上

今後の取組み

- 三菱UFJ銀行の取扱拡大
- 金融機関ニーズに応じたスキーム、商品開発
- 業務運営体制の強化、業務効率化の推進

業績推移

保証残高および営業収益推移



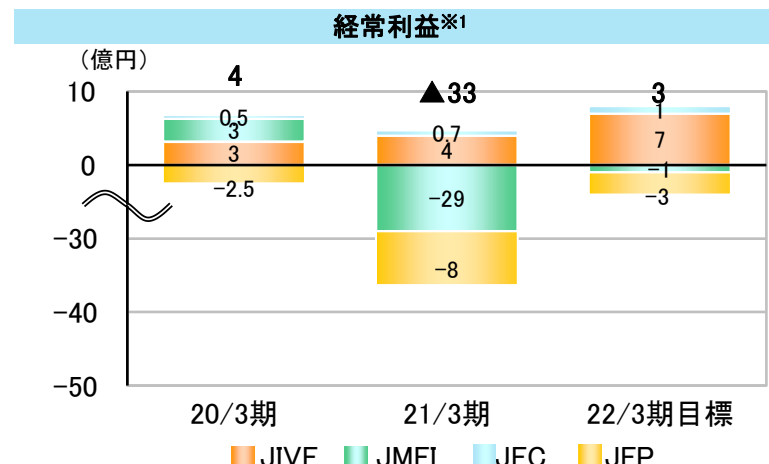
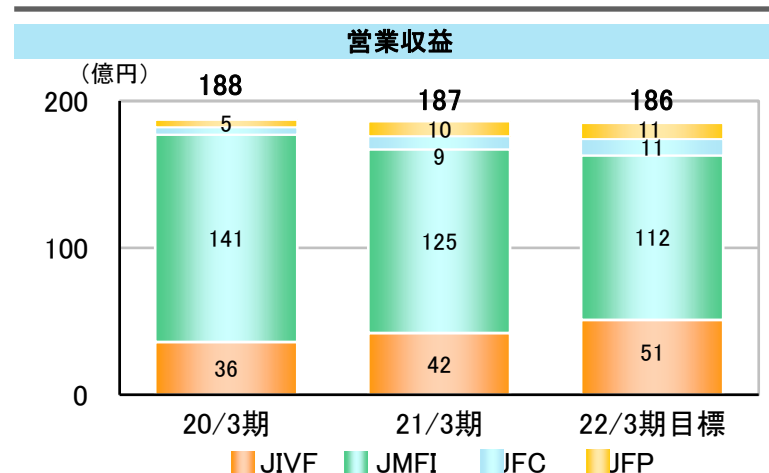
海外事業(全体戦略・目標)

事業基盤の拡充、成長へ向けた事業構造改革を推進

戦略のポイント

- 業績回復に向けた体制整備、支援強化
 - 新型コロナウイルス感染症の影響からの早期回復へ向けて各種施策を実行
 - 人材、財務、システム等の単体からの支援を強化
- ASEANにおける事業基盤の強化、再構築
 - ベトナム、カンボジアの事業基盤の拡充、利益の拡大
 - インドネシア、フィリピンの経営体質強化、事業基盤の再構築、収益性の改善

業績目標



※海外関係会社の決算期:12月決算、連結業績には1-12月分が反映

※JFP社は20/3期3Qより連結子会社化

JIVF ~ JACCS International Vietnam Finance Company Limited (ベトナム)

JMFI ~ PT JACCS MITRA PINASTHIKA MUSTIKA FINANCE INDONESIA(インドネシア)

※1のれん、連結調整額等の加減を考慮し、正味連結経常利益への貢献額

JFC ~ JACCS Finance (Cambodia) PLC. (カンボジア)

JFP ~ JACCS FINANCE PHILIPPINES CORPORATION (フィリピン)

海外事業(ベトナム・インドネシア)

ベトナム事業の利益拡大

事業環境・実績 (JIVF:ジャックス100%出資)

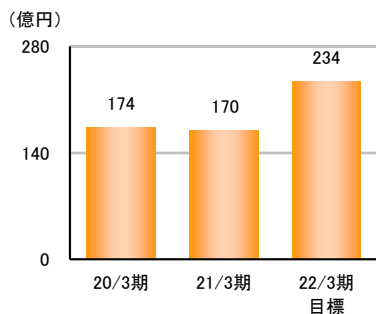
- 2020年新車二輪販売台数は、271万台(前年比16.7%減)
- JIVF社の2020年の取扱高は、前年比1.9%減少、二輪の減少をパーソナルローン、オートローン等で補う
- 2020年GDP成長率は2.9%、新型コロナウイルス感染を抑え込み、経済の回復に伴い、取扱いは回復傾向

今後の取組み

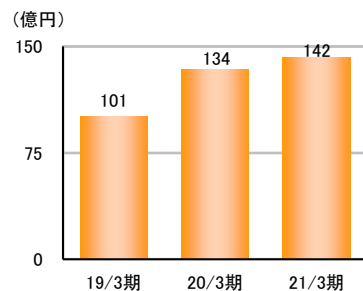
- 主力の二輪車、パーソナルローン、四輪車に加え、取扱商品の拡充により取扱拡大
- 審査・債権管理の強化、良質債権の積み上げ
- 営業体制の見直しによる、生産性向上

基盤強化、利益拡大

取扱高



営業債権残高



インドネシア事業の回復

事業環境・実績 (JMFI:ジャックス60%出資)

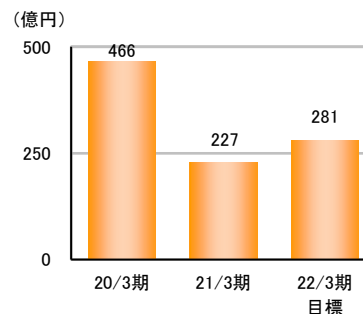
- 2020年新車自動車販売台数は、53万台(前年比48.4%減)。新車二輪車販売台数は、366万台(前年比43.6%減)
- JMFI社の2020年の取扱高は、前年比40.5%減少
- 新型コロナウイルス感染者数は、依然、一定の新規感染者数の水準が継続、経済活動、取扱いの回復は鈍い

今後の取組み

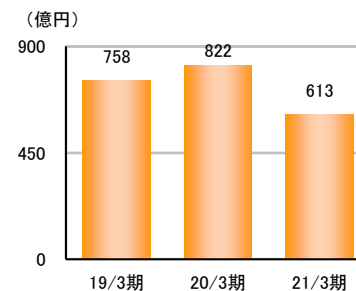
- 経済回復後の取扱い拡大へ向けた体制整備
- 支払猶予会員へのモニタリング等、債権管理強化による貸倒関連費用の抑制
- 親子ローンによる低利調達等、金融費用の抑制

収益性の改善、業績回復

取扱高



営業債権残高



海外事業(カンボジア・フィリピン)

カンボジア事業の基盤強化

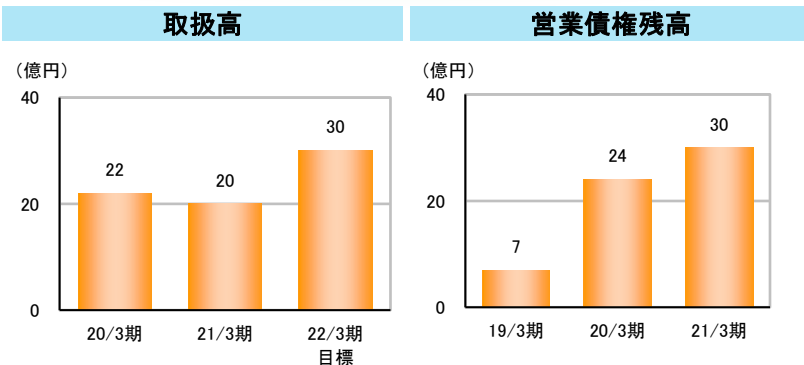
事業環境・実績 (JFC: ジャックス100%出資)

- JFC社の2020年の取扱高は、前年比9.7%減少
- 2021年に入り新型コロナウイルス感染拡大、一部社会制限あり状況を注視

今後の取組み

- 大手販売先の攻略、営業エリア拡大による取扱い拡大
- 債権回収体制とシステム基盤の強化
- 上位ライセンス獲得へ向けた取組みを推進

取扱高拡大、事業基盤の強化



フィリピン事業の再構築

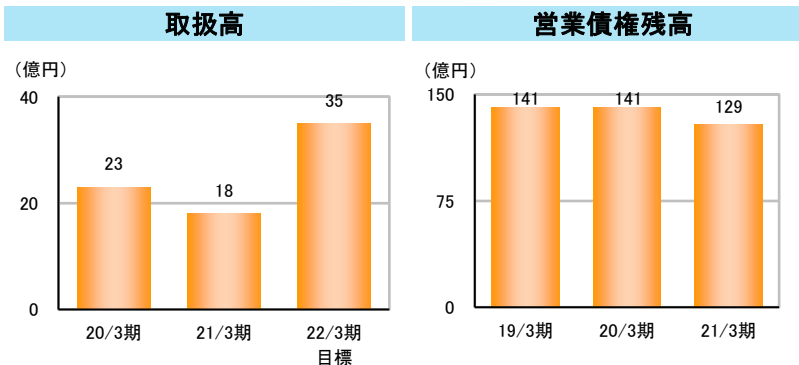
事業環境・実績 (JFP: ジャックス65%出資)
※20/3期3Qより連結化

- 2020年上期の自動車販売台数は、8.5万台、前年比51.2%減少
- JFP社の2020年上期取扱高は、前年比27.8%減少
- 新型コロナウイルス感染者の発生が続き、消費が低迷

今後の取組み

- 中古四輪車を主体とした事業構造改革の推進
- 延滞会員へのカウンセリング等、債権管理の強化
- 増資により経営基盤を強化

事業構造改革、収支を改善



ESGに関する取組み

経営理念に基づき、持続的な企業価値の向上を目指す

E: 環境 (Environment)

環境保全への取組み

- クレジット事業を通じて、CO2削減へ貢献
再生可能エネルギー発電設備、ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)の普及促進、エコカー低金利ローン
- エネルギー使用量の削減、自然環境保護
LED照明の導入、リサイクル用紙の使用、ペーパーレス化などを推進

G: ガバナンス (Governance)

経営管理体制・監査機能の強化

- 筆頭独立社外取締役を選定、社外取締役と社外監査役で構成される社外役員連絡会を開催
- 取締役会の多様性確保とガバナンスの更なる強化を目指し、独立社外取締役の1名増員(女性)を決定、これにより独立社外取締役の比率は1/3へ引き上がる

S: 社会 (Social)

社会貢献への取組み

- 社員クレジットカードの利用ポイントを寄付
社員のカード利用に付与されたポイントの一部とその同額を会社も拠出し、NPO法人等へ毎年寄付を実施
2020年度実績 寄付先:9団体 寄付総額:567万円

従業員への取組み

- 多様な働き方を支援する制度の拡充
配偶者転勤や介護を理由とした勤務地変更制度、退職者再雇用制度、最長70歳までの雇用延長制度、週休3日制
- 健康経営優良法人
「ホワイト500」
4年連続受賞



お客様への取組み

- Web・スマートフォンを活用したコミュニケーションツールの拡充により、顧客利便性を向上
- カスタマーセンターがHDI格付けベンチマーク
「クオリティ格付け」で
最高評価の「3つ星」を獲得



Ⅲ. 2022年3月期業績予想



2022年3月期業績予想

単体業績は前年並みの推移を見込むも
海外事業の業績回復により、連結業績は大幅な増益を予想

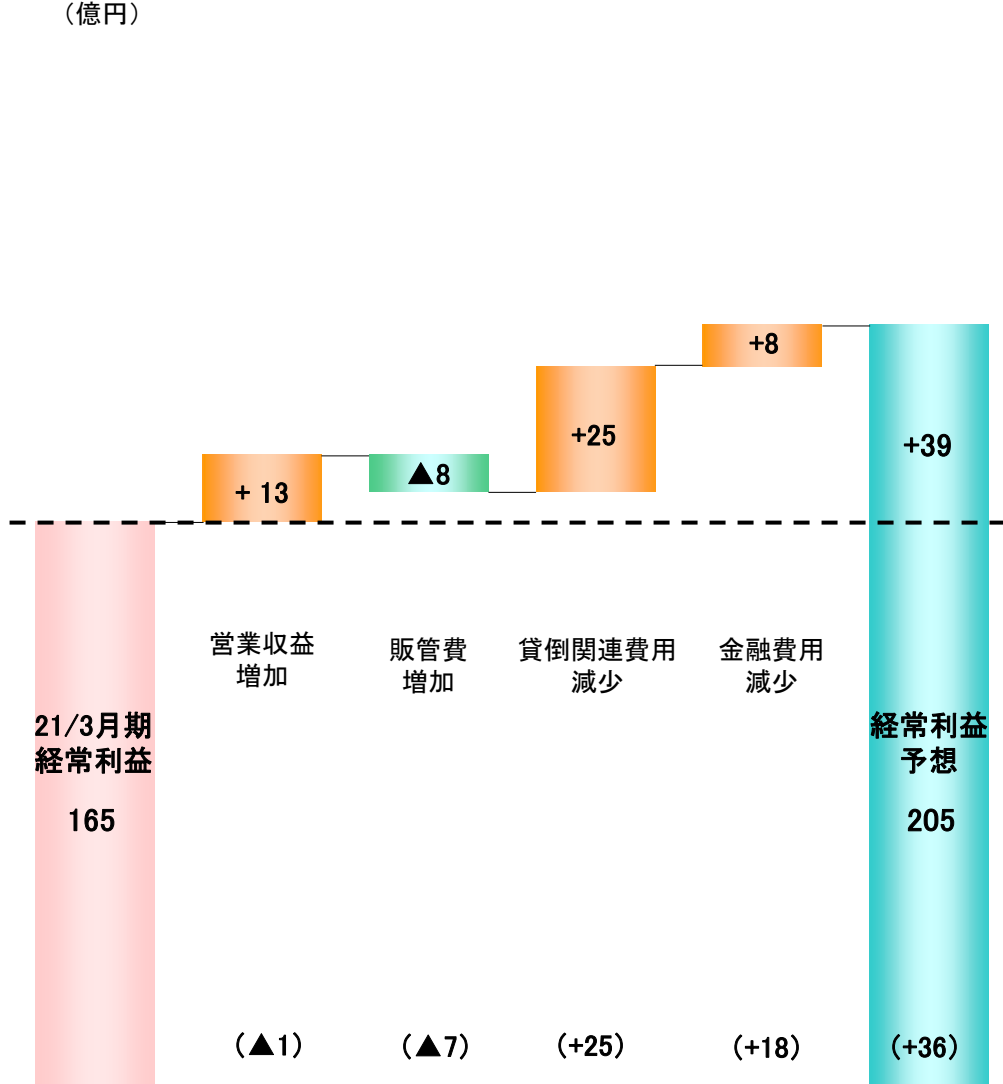
(億円)

		20/3期	21/3期		22/3期		
		実績	実績	前年比	通期予想	前年差	前年比
連結	営業収益	1,586	1,606	1.2%	1,620	13	0.8%
	営業利益	165	163	▲1.0%	205	41	25.6%
	経常利益	167	165	▲1.1%	205	39	24.2%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	107	117	9.7%	140	22	18.9%
	1株当たり配当金(円)	95	105	—	125	20	—
単体	営業収益	1,347	1,353	0.5%	1,360	6	0.5%
	営業利益	148	180	21.2%	185	4	2.5%
	経常利益	150	181	20.5%	185	3	2.2%
	当期純利益	101	125	23.8%	130	4	3.7%

※億円未満切捨て(伸率は百万円単位で算出)

補足：前期実績と今期業績予想の比較（連結）

（億円）



国内事業が堅調に推移
営業収益13億円増加見込み

グループ各社の業容拡大により
販管費8億円増加見込み

海外事業の未収債権に対する回収措置が進み
貸倒関連費用25億円減少見込み

単体で増加も、海外事業での減少幅が上回り
金融費用8億円減少見込み



海外事業の業績回復を主因に
経常利益は39億円増加
205億円にて着地見込み

カッコ内は海外事業合計の増減影響額

IV. Appendix



(ご参考) 2021年3月期決算サマリー

(億円)

		19/3期	20/3期	21/3期		
		実績	実績	実績	前年差	前年比
連結	ジャックス単体	1,270	1,347	1,353	6	0.5%
	国内関係会社	63	75	89	14	19.0%
	海外関係会社	156	188	187	▲0	▲0.5%
	営業収益合計	1,458	1,586	1,606	20	1.3%
	販売管理費	961	1,009	1,012	3	0.4%
	金融費用	129	146	168	22	15.3%
	貸倒関連費用	223	265	261	▲3	1.5%
	営業費用合計	1,314	1,421	1,443	22	1.6%
	営業利益	143	165	163	▲1	▲1.1%
	経常利益	144	167	165	▲1	▲1.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	89	107	117	10	9.7%	
1株当たり配当金(円)	80	95	105	10	—	

※億円未満切捨て(伸率は百万円単位で算出)

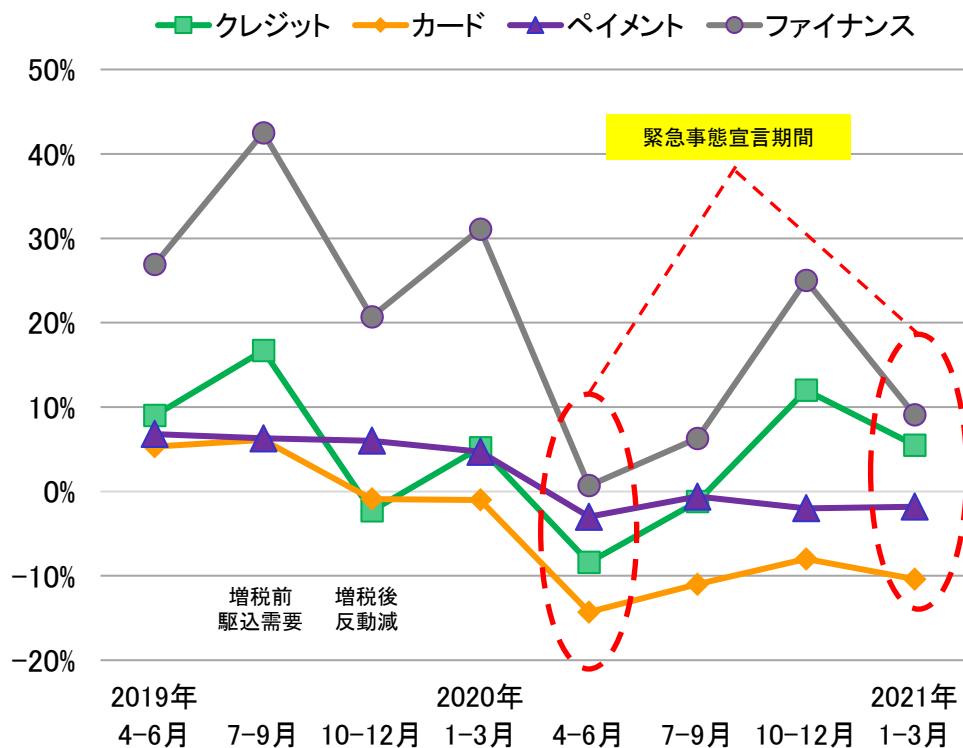
※営業収益の内訳には連結相殺前の単純合算値を記載

(ご参考) 国内事業(単体)のコロナウイルス影響と見通し

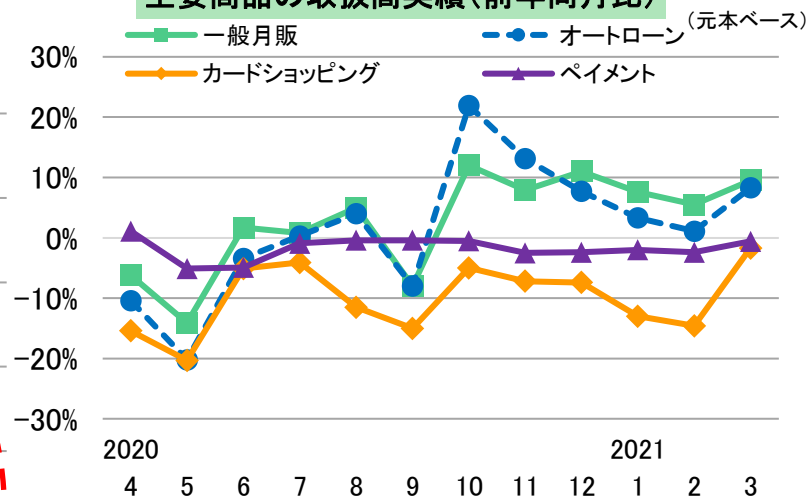
影響と見通し

- ✓ 2021年4月、まん延等防止措置や緊急事態宣言が発出されるも、現時点で取扱高に対して大きなマイナス影響は認められない
- ✓ 未収債権の新規発生は引き続き抑制されており、貸倒関連費用へ与える影響は軽微と見込んでいるが動向には注視していく

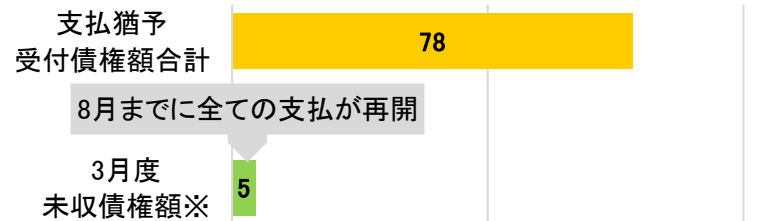
事業別取扱高推移(前年同期比)



主要商品の取扱高実績(前年同月比)



支払猶予受付債権の状況



※延滞月数1ヶ月以上の債権

(ご参考) 事業部門別取扱高・営業収益予想(単体)

(億円)

		21/3期		22/3期			
		実績	前年比	通期予想	前年差	前年比	
単体	取扱高	一般月販	5,362	2.3%	5,475	112	2.1%
		オートローン	7,620	1.7%	7,862	242	3.2%
		クレジット事業	12,982	2.0%	13,338	355	2.7%
		ショッピング	9,014	▲10.0%	9,125	111	1.2%
		キャッシング	343	▲30.3%	342	▲1	▲0.5%
		集金代行	11,873	▲1.8%	11,992	119	1.0%
		家賃保証等	4,569	▲1.9%	4,664	95	2.1%
		カード・ペイメント事業	25,800	▲5.3%	26,124	324	1.3%
		ファイナンス事業	6,509	12.3%	7,099	590	9.1%
		取扱高合計	48,237	▲0.7%	49,263	1,026	2.1%
	営業収益	一般月販	267	▲0.8%	267	▲0	▲0.0%
		オートローン	300	7.6%	303	2	0.8%
		クレジット事業	568	3.5%	570	2	0.4%
		ショッピング	295	▲6.1%	286	▲8	▲3.0%
		キャッシング	72	▲15.7%	61	▲10	▲15.1%
		集金代行	34	▲6.0%	35	0	2.3%
		家賃保証等	39	▲6.6%	39	▲0	▲0.9%
		カード・ペイメント事業	442	▲7.9%	423	▲19	▲4.4%
		ファイナンス事業	265	12.3%	293	27	10.4%
		その他収益	77	▲4.9%	77	0	0.6%
営業収益合計	1,353	0.5%	1,360	6	0.5%		

※億円未満切捨て(伸率は百万円単位で算出)

※取扱高合計にはフロアプラン等のその他取扱高、その他収益には金融収益等を含んでおります。

(ご参考) 営業費用予想(単体)

(億円)

		21/3期		22/3期		
		実績	前年比	通期予想	前年差	前年比
単 体	人件費	271	3.1%	258	▲13	▲4.9%
	物件費	442	▲3.7%	443	1	0.3%
	電算費	186	1.0%	190	3	1.9%
	金融費用	84	2.8%	95	10	12.9%
	貸倒関連費用	188	▲10.0%	189	1	0.8%
	合計	1,173	▲2.1%	1,175	1	0.1%

※億円未満切捨て(伸率は百万円単位で算出)

(ご参考) 2022年3月期 業績予想(海外関係会社)

(億円)

		21/3期			22/3期		
		実績	前年差	前年比	通期予想	前年差	前年比
取扱高	JIVF	170	▲3	▲1.9%	234	64	37.5%
	JMFI	227	▲238	▲51.2%	281	53	23.7%
	JFC	20	▲2	▲9.7%	30	10	49.0%
	JFP	18	▲5	▲21.2%	35	16	86.4%
	取扱高合計	438	▲236	▲35.0%	582	144	32.9%
営業収益	JIVF	42	6	17.0%	51	8	20.1%
	JMFI	125	▲15	▲11.0%	112	▲13	▲10.7%
	JFC	9	3	63.7%	11	2	23.4%
	JFP	10	▲1	▲9.4%	11	1	14.5%
	営業収益合計	187	▲6	▲3.5%	186	▲1	▲0.7%
経常利益	JIVF	4	1	33.0%	7	2	65.5%
	JMFI	▲29	▲32	—	▲1	28	—
	JFC	0	0	39.3%	1	0	125.6%
	JFP	▲8	▲6	—	▲3	4	—
	※1 経常利益合計	▲33	▲37	—	3	34	—

※1 のれん、連結調整額等の加減を考慮し、正味連結業績へ貢献する経常利益額

IRに関するお問合せ先

株式会社ジャックス

経営企画部 コーポレートコミュニケーション課 舂水・小澤・大澤

〒150-8932 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号

TEL 03-5448-1313

FAX 03-5448-9513

E-mail ir8584@jaccs.co.jp

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。